

DYNAC

BUSINESS REPORT

株式会社ダイナック 株主通信

第72期 決算報告書

平成27年1月1日～平成27年12月31日

新店舗情報

お客様の支持を追い風に出店を加速
アウトソーシングニーズの高まりを受けて
さらなる事業拡大へ

FOCUS

好立地店舗を都心型戦略業態へ
イメージ一新で新たな顧客を開拓

TOPICS

野菜を効率よく摂取できる健康ランチ開発
セルフオーダーシステムで顧客満足度を向上



ビジネスハイライト BUSINESS HIGHLIGHT

平成27年1月～平成27年12月

- ……新店(受託店含む)
- ……リニューアル(業態変更)店



株主の皆さまへ TO OUR SHAREHOLDERS

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第72期事業年度(平成27年1月1日～平成27年12月31日)における事業概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当期におけるわが国経済は政府の継続的な経済対策や日銀の金融緩和策を背景に企業収益の拡大やインバウンド需要による経済の押し上げ効果はあったものの、新興国の経済減速懸念や深刻化する原油安による影響など、景気の先行きは不透明な状況で推移し、外食業界を取り巻く経営環境は、円安による物価の上昇や人材の確保など、依然と厳しい状況にあります。

こうした中、当社は「お客様の感動満足」を起点とした会社の成長を目指し、より安定した企業基盤の確立と事業拡大に向けたサービスの革新及び筋肉質な組織への再構築に取り組むとともに、食に対する安心・安全の追求、基本の徹底及び企業理念の実践に努め、お客様に最高の商品・サービス・環境をご提供できる店づくりを心がけてまいりました。

当期における出店等は、海鮮居酒屋「魚盛」、ビストロ&バル「ワイン倶楽部」を出店するなど、ゴルフ場レストランを含め計17店舗を新規に出店しました。また、既存の4店舗を新業態の「MASTER'S DREAM HOUSE」やワインバル「ヴィッラ ビアンキ」などに業態変更する一方、8店舗を閉店し、当期末の店舗数は260店舗となりました。

業績につきましては、売上面では「倶楽部ダイナック(顧客会員カード)」を軸に、毎週月曜日は精算ポイントが2倍になる月得キャンペーンや宴活宣言チケットなどのさまざまな販売促進活動並びに「だい丸」ブランドによる「おせち」販売などに取り組み、売上高は36,134百万円(前年同期比3.9%増)となりました。また、利益面では、原材料価格の上昇や人件費関連費用の増加などの影響もありましたが、積極的な販売促進活動などによる来客数の増加や店舗管理コストの最適化などに努めたことにより、経常利益は929百万円(前年同期比16.2%増)となり、全体としては増収増益となりました。

当社はこのたび、平成28年3月23日開催の定時株主総会の決議をもって監査等委員会設置会社に移行いたしました。これにより、コーポレートガバナンスのさらなる充実や取締役会の監査・監督機能のより一層の強化、経営の公正性・効率性の向上を図ってまいり所存でございます。株主の皆様におかれましては、今後とも一層の力強いご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

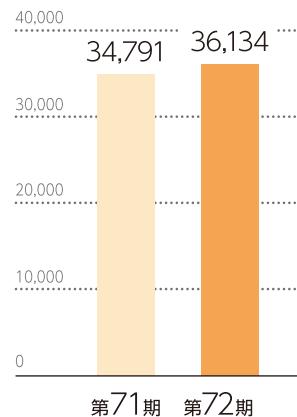
平成28年3月
代表取締役社長

若杉和正



(%表示は、対前期増減率)

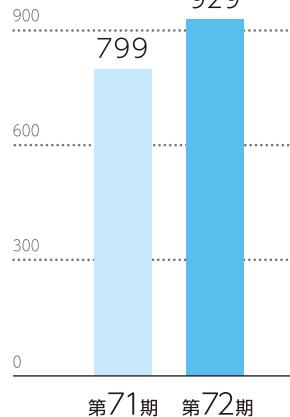
売上高 (百万円)



↑3.9%増
(前期比+1,342百万円)

「倶楽部ダイナック(顧客会員カード)」を軸に、毎週月曜日は精算ポイントが2倍になる月得キャンペーンや宴活宣言チケットなどのさまざまな販売促進活動並びに「だいカ」ブランドによる「おせち」販売などにより、増収となりました。

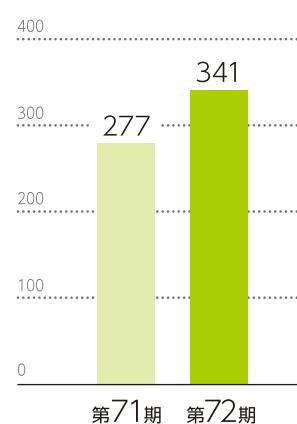
経常利益 (百万円)



↑16.2%増
(前期比+129百万円)

原材料価格の上昇や人件費関連費用の増加などの影響がありました。積極的な販売促進活動などによる来客数の増加や店舗管理コストの最適化などに努めたことにより、増益となりました。

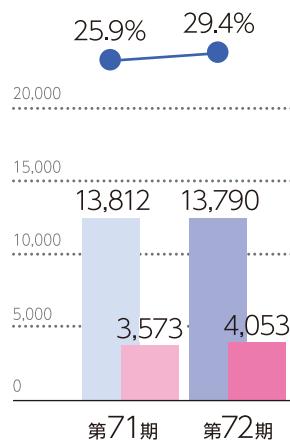
当期純利益 (百万円)



↑22.9%増
(前年同期比+63百万円)

特別損失として店舗等撤退損失や減損損失などを計上しましたが、増益となりました。

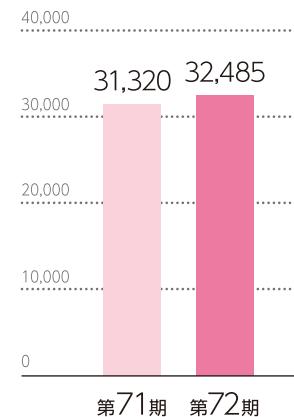
総資産/純資産/自己資本比率 (百万円)



総資産は主に現金及び預金、売掛金、未収入金が増加する一方、建物及び繰延税金資産が減少した等により前期末より22百万円減少。純資産は、主に利益剰余金が増加したことにより前期末より479百万円増加。この結果、自己資本比率は前期末より3.5ポイント増加の29.4%となりました。

(%表示は、対前期増減率)

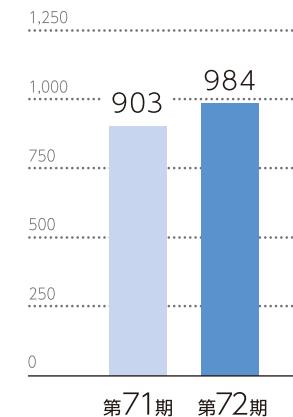
レストランバー (百万円)



↑3.7%増
(前期比+1,164百万円)

当期は計17店舗を新規出店し、既存の4店舗を業態変更する一方、8店舗を閉店し、当期末の店舗数は260店舗となりました。また、さまざまな販売促進活動により、売上高は好調に推移しました。

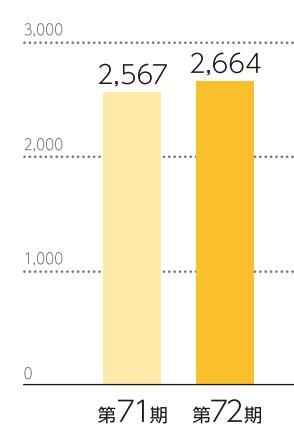
ケータリング (百万円)



↑9.0%増
(前期比+81百万円)

新規チャネルへの営業拡大に努めた結果、増収となりました。

その他 (百万円)



↑3.8%増
(前期比+96百万円)

「道の駅 まくらがの里こが」の売店収入が寄与し、売上伸長に貢献しました。

次期の見通し

外食業界におきましては、円安による物価の上昇や人材の採用コスト増加に加え、平成29年の消費税税率引き上げを控え、個人消費の慎重な購買姿勢は変わらず、引き続き厳しい経営環境が続くものと思われまます。このような環境の下、当社は「お客様の感動満足」を起点とした会社の成長の実現に向け、付加価値の高い分野の業容拡大並びに高収益構造への変革など、当社事業の強みを活かし、同業他社との差別化を図りながら、収益基盤の強化に取り組んでまいります。また、消費者の安全指向が高まり、さらに食に対する安心・安全の追求、基本に忠実な仕事を徹底するとともに、お客様に高付加価値な飲食空間で美味しい料理と最高のドリンクを提供できる店づくりを推し進めてまいります。

次期の業績につきましては、売上高は37,240百万円(前期比3.1%増)、経常利益は1,100百万円(前期比18.4%増)、当期純利益は430百万円(前期比26.1%増)を見込んでおります。

新店舗情報

バー・レストラン事業

お客様の支持を追い風に出店を加速

当期は、売上好調な戦略業態、海鮮居酒屋「魚盛」を3店舗、気軽にワインが楽しめる「ワイン倶楽部」を2店舗新規出店しました。また、好立地の4店舗を都心型戦略業態である日本酒居酒屋「虎連坊」、新業態のガストロパブ「MASTER'S DREAM HOUSE」とイタリアンバー&ダイニング「ヴィッラ ビアンキ」に業態シフトをするなど、業容拡大の新たなチャレンジを継続しました。



魚盛



東京 神田
神田東口店 New Open 2015.4.8

東京 飯田橋
飯田橋店 New Open 2015.10.21

東京 有楽町
有楽町ビル店 New Open 2015.11.17

漁港直送鮮魚を気軽に楽しく 各店限定メニューも大好評

漁港直送鮮魚がリーズナブルに楽しめる居酒屋「魚盛」が絶好調。生け簀の活魚をさばいた日替わり刺身盛り合わせはもとより、各店限定メニューも人気です。競合店が多いエリアにあって、男性サラリーマンを中心に魚料理好きのお客様を惹きつけています。



神田東口店

飯田橋店

有楽町ビル店



新宿ワイン倶楽部

東京 西新宿 New Open 2015.9.4



大宮ワイン倶楽部

埼玉 大宮 New Open 2015.12.7

グラスワイン人気に応える充実の銘柄

ワインブームの追い風を受けて、早くも6店舗目に。1皿ごとに違う銘柄を自由に楽しむグラスワインのニーズに応じて、ワインの銘柄も一段と充実させました。ワインと相性のよい料理も多数ご用意。お腹も心も大満足、間違いなしです。



ヴィッラ ビアンキ



東京 丸の内
丸の内OAZO店 Renewal Open 2015.11.26

伊マルケ州の有名ワイナリーの 品揃え日本No.1ワインバー

イタリア中部を代表するウマニ・ロンキ社のワインを、17種類揃えたワインバーが東京・丸の内に誕生。陽気な港町の雰囲気の中で、マルケ州の郷土料理と一緒に良質ワインをご堪能ください。



虎連坊

東京 秋葉原 秋葉原店 Renewal Open 2015.2.24
東京 八重洲 八重洲店 Renewal Open 2015.6.29

50種類の日本酒が揃った大人の居酒屋

酒蔵イメージの店内に、日本酒を常時50種類ご用意。気軽に飲み比べをお楽しみください。お酒と相性が抜群の季節のうまい肴も、いろいろ揃えています。日本酒のおいしさを再発見できます。

新店舗情報

運営委託事業

アウトソーシングニーズの高まりを受けてさらなる事業拡大へ

当期は初のエリア進出となる北海道や島根など、計7店舗のゴルフ場レストランを新たに受託しました。近年ゴルフ場レストランはアウトソーシングニーズが高まる中、当社のメニュー開発力や運営ノウハウは高く評価され着実に成長を続けています。受託ビジネスは参入障壁が高く、投資効率のよいことから、今後もしっかりしたご提案とサービスのご提供を行ってまいります。



■ ゴルフ倶楽部 レストラン

シーダーヒルズカントリークラブ

岐阜 関 New Open 2015.2.1

額田ゴルフ倶楽部

愛知 岡崎 New Open 2015.2.25

アイランドゴルフガーデン加賀

石川 小松 New Open 2015.3.1

高岡カントリー倶楽部

富山 高岡 New Open 2015.3.13

室蘭ゴルフ倶楽部

北海道 室蘭 初進出 New Open 2015.4.1

島根ゴルフ倶楽部

島根 出雲 初進出 New Open 2015.4.1

小野東洋ゴルフ倶楽部

兵庫 小野 New Open 2015.9.1



ラ・メール・プラーレ 名古屋ラシック店

愛知 名古屋 New Open 2015.3.20

オムレツが名物のフレンチが名古屋初上陸

仏モン・サン・ミッシェルの人気レストランが、名古屋エリアに初出店です。名物のスフレオムレツ以外にも、ムール貝料理、煮込み料理などもご用意。本格フレンチの味をカジュアルにお楽しみいただけます。



とりやき源氣 高円寺北口店

東京 高円寺 New Open 2015.9.2

豪快な調理スタイル、新感覚の鶏業態

部位ごとにカットして豪快に焼き上げる、ユニークな調理スタイルが人気。鶏本来の旨味や、ジューシーなおいしさが味わえます。さまざまな部位を使った一品料理も充実。気軽に立ち寄れてサクッと楽しめる新感覚の鶏業態です。



HIGHBALL'S 浜松町

東京 浜松町 New Open 2015.1.26

ちょい飲みにおすすめの、ハイボールバー

ハイボール専用ディスペンサーで提供される角ハイをはじめ、多彩なウイスキーを使った高品質ハイボール15種をご用意しています。駅に直結のロケーションですので、会社帰りの寄り道、待ち合わせなど、ちょい飲みのご利用に最適。



MASTER'S DREAM HOUSE

東京 丸の内 Renewal Open 2015.3.17

ビールをとことん堪能できるガストロパブ

醸造家の夢のビールの魅力を体験できる旗艦店。ザ・プレミアム・モルツ マスターズドリームをはじめ、サントリー製造の最高品質ドラフトビールをお楽しみください。スパイシーな料理や肉料理が、ビールのおいしさを一層引き立てます。

好立地店舗を都心型戦略業態へ イメージ一新で新たな顧客を開拓

より魅力的で価値あるお店へ、業態変更をスピードアップ

トレンドに敏感なビジネスマン、OLのお客が多い好立地店舗は、とりわけ業態の鮮度が重要です。そのため、より個性的でユニークな都心型戦略業態へのシフトを進め、ブランド育成に取り組んでいます。洋業態では「パパミラノ」をよりワインを強化した新業態「ヴィッラ ビアンキ」へ、和業態では「火楽(からく)」、「膳丸」を日本酒が充実した居酒屋「虎連坊」へそれぞれ変更しました。イメージを一新することで新たな顧客を開拓し、売上げを伸ばしています。好立地店舗については、今後もスピード感をもって業態変更を検討してまいります。

洋 ヴィッラ ビアンキ



第7次ブームの今、上質ワインを自由に楽しみたい志向をキャッチ。コストパフォーマンスの良さで注目されているウマニ・ロンキ社銘柄が揃っていることで話題になり、顧客を引き寄せています。

和 虎連坊



和食全体の評価が高まっている中、歴史ある「虎連坊」ブランドの認知度を強化するため、日本酒の前面に打ち出した業態にリニューアル。気軽に日本酒が楽しめる提案で新規顧客を獲得しています。

野菜を効率よく摂取できる 健康ランチ開発

“忙しい大人を食で助ける”をビジョンに掲げる (社)大人のダイエット研究所と共同開発

当社は外部とのコラボ企画を、新たなメニュー開発のヒントやお客様に期間限定のおいしさをご提供する機会にしています。今回、一般社団法人「大人のダイエット研究所(東京都渋谷区)」と健康を意識した、野菜や食物繊維を効率よく摂取できるランチメニューを共同開発し、オフィス立地に店舗を展開する「パパミラノ」「アチエーゾ」において、忙しいビジネスマン、カロリーを気にする女性をターゲットに期間限定でご提供し、大変好評でした。これからもコラボ企画を通じて、新鮮な魅力をお客様にお届けしてまいります。



(社)大人のダイエット
研究所代表 岸村康代氏

セルフオーダーシステムで顧客満足度を向上



お客様は好きな時に手軽に注文 店舗スタッフはお客様へのおもてなしに専念

ホールスタッフの視界コントロールが難しい大型店舗、個室の多い店舗や外国人旅行者の需要が多い店舗については、お客様が客席でセルフ注文できるタッチパネル式のオーダーシステムを導入しています。お客様はタッチパネル画面を見ながら混雑時でも好きなタイミングで気軽ご注文でき、ホールスタッフは、お客様へのおもてなしに専念することで顧客満足度の向上につながっています。今後も業態コンセプトや立地、店舗特性に合わせた導入を検討してまいります。

財務諸表 FINANCIAL STATEMENTS

貸借対照表 (単位:百万円)

科目	当期 (平成27年12月31日現在)	前期 (平成26年12月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	3,623	3,325
現金及び預金	598	475
売掛金	2,125	2,044
たな卸資産	288	286
その他	627	526
貸倒引当金	△16	△7
固定資産	10,167	10,487
有形固定資産	4,394	4,534
建物	3,792	3,933
その他	602	600
無形固定資産	134	98
投資その他の資産	5,638	5,854
敷金及び保証金	4,857	4,938
その他	1,085	1,264
貸倒引当金	△303	△347
資産合計	13,790	13,812

科目	当期 (平成27年12月31日現在)	前期 (平成26年12月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	7,227	6,765
買掛金	2,581	2,499
短期借入金	172	-
一年以内返済予定の長期借入金	855	842
未払費用	2,245	2,031
未払法人税等	354	332
その他	1,018	1,059
固定負債	2,509	3,473
長期借入金	597	1,352
退職給付引当金	1,080	1,297
資産除去債務	772	748
その他	58	75
負債合計	9,737	10,239
(純資産の部)		
株主資本	4,039	3,565
純資産合計	4,053	3,573
負債・純資産合計	13,790	13,812

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

損益計算書 (単位:百万円)

科目	当期 (自平成27年1月1日 至平成27年12月31日)	前期 (自平成26年1月1日 至平成26年12月31日)
売上高	36,134	34,791
売上原価	31,433	30,455
売上総利益	4,700	4,335
販売費及び一般管理費	3,760	3,522
営業利益	940	812
営業外収益	14	18
営業外費用	25	32
経常利益	929	799
特別利益	36	2
特別損失	220	218
税引前当期純利益	745	583
法人税、住民税及び事業税	387	331
法人税等調整額	16	△24
当期純利益	341	277

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

区分	当期 (自平成27年1月1日 至平成27年12月31日)	前期 (自平成26年1月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,448	1,633
投資活動によるキャッシュ・フロー	△685	△471
財務活動によるキャッシュ・フロー	△640	△1,155
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	123	6
現金及び現金同等物の期首残高	475	468
現金及び現金同等物の期末残高	598	475

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書 第72期 (単位:百万円) (自平成27年1月1日 至平成27年12月31日)

	株主資本					自己株式	株主資本 合計	評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金	繰越利益 剰余金					
平成27年1月1日 残高	1,741	965	179	679	858	△0	3,565	8	8	3,573
会計方針の変更による累積的影響額				204	204		204			204
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,741	965	179	883	1,062	△0	3,769	8	8	3,777
事業年度中の変動額										
剰余金の配当				△70	△70		△70			△70
当期純利益				341	341		341			341
自己株式の取得						△0	△0			△0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)								5	5	5
事業年度中の変動額合計	—	—	—	270	270	△0	270	5	5	275
平成27年12月31日 残高	1,741	965	179	1,154	1,333	△0	4,039	13	13	4,053

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

会社概要 CORPORATE DATA (平成27年12月31日現在)

商号	株式会社ダイナック	◆ 役員 (平成28年3月23日現在)	
本社所在地	東京都新宿区新宿一丁目8番1号	代表取締役社長	若杉 和正
設立年月	昭和33年3月	専務取締役	田中 政明
資本金	17億4,162万円	常務取締役	米倉 通浩
店舗数	260店舗	取締役	保坂 孝徳
決算期	12月31日(年1回)	取締役常勤監査等委員	岡 哲義
社員数	945人	取締役監査等委員	小松 美喜男
事業内容	各種業態の飲食店の経営及び受託	取締役監査等委員	武笠 悦郎

株式の状況 STOCK INFORMATION (平成27年12月31日現在)

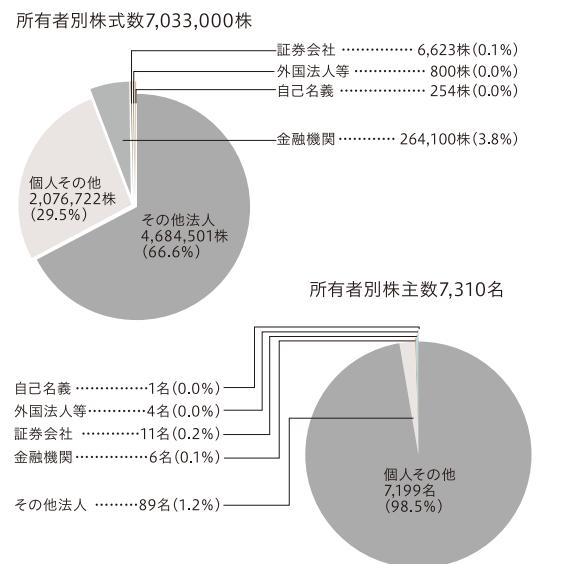
株式の総数及び株主数

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数(単元株式数100株)	7,033,000株
株主数	7,310名

大株主

株主名	所有株数	持株比率
サントリーホールディングス株式会社	4,340,000株	61.7%
ダイナック従業員持株会	174,300	2.5
鴻池運輸株式会社	150,000	2.1
日本生命保険相互会社	84,000	1.2
株式会社三井住友銀行	60,000	0.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	60,000	0.9
株式会社佐々木	47,500	0.7
三井住友信託銀行株式会社	40,000	0.6
関口 正明	20,500	0.3
三井住友海上火災保険株式会社	20,000	0.3

所有者別の株式数と株主数



株主優待制度のお知らせ INFORMATION FOR SHAREHOLDERS

ダイナックでは、株主様の日頃からのご支援とご愛顧に感謝を込めまして、株主優待制度を設けております。この優待制度は、当社の事業活動に触れていただく機会をご提供させていただくことで、当社をよりご理解いただくことを目的としたものです。今後とも、株主様との対話を通じた親密な関係を築いてまいりたいと思いますので、ご支援をよろしくお願ひ申し上げます。



株主優待の方法

毎年6月30日及び12月31日現在の株主様に対し、年2回、以下の基準により株主優待お食事券を贈呈いたします。

(1) 贈呈基準

- ①所有株式100株以上500株未満：株主優待お食事券 2千円(1,000円券 2枚)
 - ②所有株式500株以上1,000株未満：株主優待お食事券 6千円(1,000円券 6枚)
 - ③所有株式1,000株以上(一律)：株主優待お食事券 12千円(1,000円券 12枚)
- ※お食事券をご希望されない株主様には、全ての株主優待お食事券をご返送いただいた場合上記贈呈基準に応じて①2kg ②5kg ③10kgのお米(コシヒカリ)と交換いたします。

(2) 利用方法

当社が経営する店舗(贈呈者には一覧表にて別途通知)においてご飲食の際使用できます。

(3) 有効期間

発行日より1年間

(4) 送付時期

6月30日現在の株主様……9月下旬頃
12月31日現在の株主様……翌年3月下旬頃

株主メモ SHAREHOLDERS' MEMO

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会：12月31日 期末配当金：12月31日 中間配当金：6月30日 ※その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告方法	当社のホームページ(http://www.dynac.co.jp)にて電子公告により行います。 ただし、電子公告を行うことができない事故やその他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031
ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
上場証券取引所	東京証券取引所

● 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社にご連絡をお願いします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。

● 特別口座について
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出には、上記の電話照会先までご連絡をお願いします。

「投資家の皆様へ」のサイト



<http://www.dynac.co.jp>

株主様や投資家の皆様に、当社の**事業活動**についてご理解を賜るべく、ホームページに「**投資家の皆様へ**」のサイトを設けております。また、次々にオープンする新店舗の情報や各店舗のお得なイベント情報など「**美味しい情報**」をタイムリーに提供しております。

□ 株式会社ダイナック 法務・総務部

〒160-0022 東京都新宿区新宿一丁目8番1号
TEL.03-3341-4216 / FAX.03-3352-4915

UD FONT

- ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。
- この印刷物は地球に優しい大豆油インキとエコロジーペーパーを使用しております。